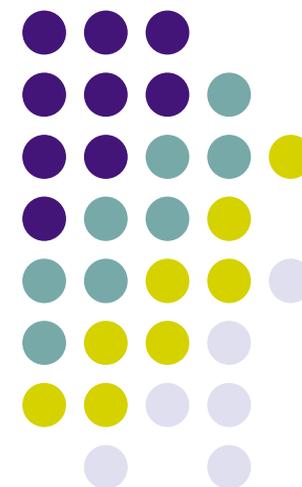


社会科学分野のアメリカ 大学院留学

古賀 純

Emory大学政治学部

PhD Candidate

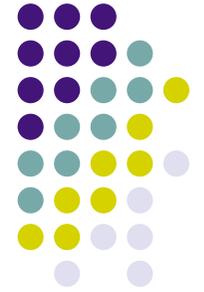




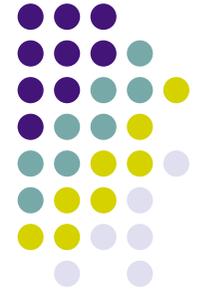
話す内容

- マスターコースとPhDプログラムの違い
- 私立大学、州立大学の違い
- 異なる大学に移るメリット、デメリット
- アメリカのJob Market(大学教授職)
- Faculty Search 委員会の経験から

マスターとPhDプログラムの違い



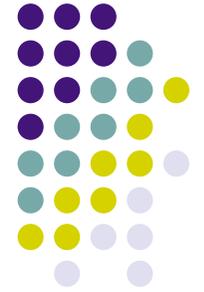
- 勉強の目的
- かかる時間（2年 vs 5年）
- 授業料、生活費
- 教授陣との関係
- 就職先



私立大学、州立大学の違い

- 学部予算（研究費、教授の質、教授の他大学への移動、学会参加費）
- ティーチングの負担
- 学部生の質
- 州経済、財政悪化の影響

異なる大学へ移るメリット、デメリット



- **メリット**
 - より良い研究環境へ
- **デメリット**
 - 時間がかかる(単位トランスファーの可能性)
 - 元の大学との関係
 - 予測不可能

アメリカのJob Market（教授職）



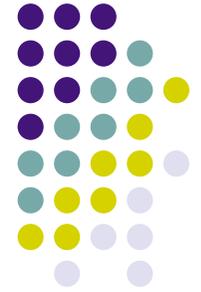
- PhD4年目終了後の8月：アプリケーション開始
- CV、カバーレター、リサーチステートメント、ティーチングステートメント、論文、推薦状
- 9月： 非公式なインタビュー

Job Market Process



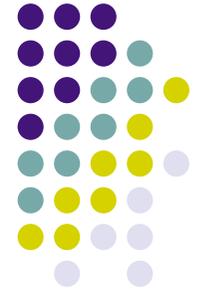
- 各大学が数名をジョブインタビューに呼ぶ。
- ジョブトーク(博論発表)、Q&A
- ジョブインタビュー
- 最終決定

Faculty Search委員会 の経験から



- まずトップ20人、最終的に4人インタビュー
- プレインタビュー： 大学名、推薦状、指導者の評判、トピックマッチ、刊行論文の数、質
- ジョブインタビュー： 博士論文の質、Q&A セクション、ティーチング

続き



- 英語コミュニケーション能力の重要性
- Solo Authored Paper、Co-Authored Paper
- ハーバードの10thか、中堅大学のトップか
- 非常にランダムな要素が多い
- コントロールできること(博論の質、それ以前の論文Publish作業)に集中する

